

# 安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報	DPF 専用洗浄剤
会社名	株式会社オプティ
住所	〒510-8121 三重県三重郡川越町高松 133
電話番号	059-363-2512
FAX 番号	059-392-5266
作成日	2018 年 4 月 18 日

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

健康有害性

皮膚腐食性・刺激性 区分 1

目に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分 1

発がん性 区分 2

水生環境有害性 区分 3

\*記載のないものは分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素

シンボル

腐食性

健康有害性



注意喚起語

**危険**

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷・目の損傷

発がん性の恐れに近い

水生生物に有害

## 注意書

【安全対策】 粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気を吸入しないこと。取り扱い後は手を良く洗うこと。  
この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。  
保護手袋・保護委・保護メガネを使用すること。

【応急措置】 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡し、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚または髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は医師に相談すること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断をうけること。

眼に入った場合：水で数分間洗うこと。コンタクトレンズをしている場合は外すこと。  
医師の診察を受けること。

【保管】 施錠して保管すること。

【廃棄】 内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成・成分情報

### 化学物質・混合物の区別

成分名 化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化学式	*1 化審法	*2 PRTR 法 NO.	*3 毒劇物該非	*4 安衛法
無機アルカリ塩	1～2				非該当	非該当	非該当
界面活性剤	0.2～1				非該当	非該当	非該当
脂肪酸	0.2～1				非該当	非該当	非該当
キレート剤	0.2～1				非該当	非該当	非該当
ポリオキシエチレン アルキルエーテル	0.3 以下	84133-50-6		7-97	第1種	非該当	非該当
清 水	残				非該当	非該当	非該当

\*1 化審法 官報公示整理番号（化審法）

\*2 PRTR 法報告物質 非該当 該当物質は含有するが1%以下

\*3 毒物および劇物取締法 非該当 該当物質は含有しない

\*4 労働安全衛生法

表示物質：施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質：法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 名称を通知すべき有害物質

第2種有機溶剤・第3種有機溶剤：施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則

有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有しない。

#### 吸入した場合

- ・吸入して気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で急速させること。
- ・気分が戻らないときは、医師の手当を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにし、安静にする。
- ・呼吸が弱い場合は、人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・吸入の影響は遅れて現れることがあるので注意する。
- ・上記の症状が出た場合、直ちに医師の診断や手当を受けること。

#### 皮膚に付着した場合

- ・直ちに汚染された衣類を全て取り除くこと
- ・強アルカリ性の製品なので、石鹼を用いずぬるま湯を流しながら皮膚の刺激や、ぬるぬるする感じがなくなるまで洗い続ける。1時間以上を要する場合もある。
- ・汚染した衣類を最使用する際は、しっかりと洗濯してから使用すること。

#### 目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。目を洗う際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで清水が行き渡るように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄をする。
- ・目の刺激が続く場合は、医師の手当を受ける。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の手当を受ける。

#### 飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の手当を受ける。
- ・無理に吐かせない。
- ・子供が飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の手当を受ける。
- ・必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。

#### 最も重要な兆候及び症状

- ・特になし

#### 応急措置をする者の保護

- ・特になし

#### 医師に対する特別注意事項

- ・特になし

#### 4. 火災時の措置

##### 消火剤

- ・この製品自体は燃焼しない。

##### 特有の危険有害性

- ・燃焼ガスには一酸化炭素の他、窒素酸化物系の有毒ガスが含まれるので、消化の際には煙を吸入しないように注意する。

##### 特有の消化方法

- ・消火作業は可能な限り風上から行う。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合は、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
- ・火災発生の場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

##### 消火を行う際の保護

- ・消火作業では、手袋、マスク、保護メガネ等を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

#### 5. 露出時の措置

##### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・露出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、保護衣などを着用すること。
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

##### 環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないようにする。

##### 封じ込め及び浄化の方法

- ・少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させて取り除いた後、ウエス等でよくふき取り、密閉できる容器に回収する。
- ・大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理をする。
- ・本製品は強アルカリなので、盛土で囲って流水を防止し、安全な場所に導いてから処理する。必要があれば希塩酸、希硫酸等で中和する。下水溝、表流水、地下水に流していけない。

- ・付着物、廃棄物などは関係法規に基づき処理をする。

#### 二次災害の防止法

- ・露出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

### 6. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策

- ・アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
- ・取扱い後は手を良く洗うこと。

#### 保管

##### 適切な保管条件

- ・施錠して子供の手の届かない冷暗所に保管する。
- ・酸と一緒に保管しない。

##### 安全な容器包装資材

- ・ステンレスまたはポリエチレン容器に保管する。

### 7. 暴露防止および保護措置

#### 設備対策

- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・屋内で使用する場合は、局所排気装置を設置する。

#### 保護具

##### 呼吸器の保護具

- ・防護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

##### 手の保護

- ・保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用すること。
- ・必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

##### 眼の保護

- ・保護メガネ（普通眼鏡型）、必要に応じてゴーグル型、保護面等を着用すること。

## 8. 物理的および化学的性状

外観	・淡白色液体
臭い	・無臭
pH	・10.5
融点・凝固点	・データなし
沸点	・データなし
引火点	・なし
自然発火温度	・データなし
燃焼性	・データなし
燃焼又は爆発範囲下限、上限	・データなし
蒸気圧	・データなし
蒸気密度	・データなし
蒸発速度	・データなし
密度	・1.03g/cm <sup>3</sup>
溶解性	・水に溶解
分解温度	・データなし

## 9. 安定性および反応性

### 反応性

#### 化学的安定性

- ・通常の取り扱いにおいては安定である。

#### 危険有害反応性の可能性

- ・特になし
- ・アンモニウム塩と反応しアンモニアを生成し、火災の危険をもたらす。

#### 避けるべき条件

- ・特になし

#### 混触危険性物質

- ・酸性物質（アルカリ性物質のため、酸性物質との接触を避けること）。

#### 危険有害な分解生成物

- ・特になし

#### その他

- ・特になし

## 混触危険性物質

- ・酸性物質（アルカリ性物質のため、酸性物質との接触を避けること）金属類。

## 危険有害な分解生成物

- ・特になし

## その他

- ・特になし

## 10. 輸送上の注意

### 国際規制

国連部類 非該当

国連番号 非該当

海洋汚染物質 非該当

### 国内規制

容器イエローラベル 非該当

陸上輸送 消防法、労働安全衛生法に定められている輸送方法に従う。

海上輸送 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空輸送 航空法に定められている輸送方法に従う。

### 輸送における特定の安全対策および条件

- ・容器の破損、漏れがないか確認する。
- ・荷崩れ防止を確実にを行う。
- ・当該保冷に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・直射日光を避ける。
- ・水濡れ禁止。
- ・横積み禁止
- ・夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等に直接置かない。
- ・輸送容器に衝撃を与えない。

## 11. 適用法令

火薬類取締法：対象外

高圧ガス保安法：対象外

消防法：非危険物

毒物及び劇物取締法：詳細は3. 組成成分情報参照

労働安全衛生法：表示対象物を含有する（詳細は3. 組成成分情報参照）

通知対象物を含有する（詳細は3. 組成成分情報参照）

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法律（PRTR 法）

PRTR 法に非該当。当該物質は含有するが1%以下（詳細は3. 組成成分情報参照）

**\*注意**

安全データシート (SDS) は、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考とし、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保障書ではありません。